

**地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 IMA 小委員会  
(第 25 期・第 5 回)**

**議 事 要 旨**

1. 日 時 令和 5 年 5 月 20 日 (土) 15 : 30-16 : 00

2. 会 場 遠隔会議

3. 出席者 : 大谷栄治・宮脇律郎・大藤弘明・井上徹・榎並正樹・鍵裕之・杉山和正・土屋旬・土屋卓久・富岡尚敬・坂野靖行・門馬綱一・塚本尚義・辻森樹・永蔭真理子・福士圭介・森下知晃・西山忠男

4. 議 題

(1) 議事録の委員長一任について

承認された。

(2) IMA メダル委員会委員交代 (辻森)

辻森氏が IMA メダル委員会の委員を任期満了 (2019-2022、4 年間) で退任。イェール大の唐戸氏も同じタイミングで退任し、新たに広島大学の井上氏が加入 (2026 まで 4 年間)

(3) IMA 博物館委員会からの報告 (坂野)

(i) 2023 年 1 月 16 日開催の IMA 博物館委員会キャッチアップミーティング報告  
2028 年開催予定の M&M11 について中国が開催地の立候補を検討していることが報告された。ICOM による博物館の定義、統合化されたデジタルカタログ (例えば mindat)、鉱物学研究のデジタル化、利益相反と個人コレクション等が議論された。現理事会メンバー 3 人は次期 (2026 年まで) も再選される見通しであること報告された。

(ii) 世界鉱物年への対応

新たに東京大学総合研究博物館において世界鉱物年のロゴが掲示された。

(4) CMP 報告 (土屋旬)

(i) CPM の再編の経緯

2022 年 Lyon における第 23 回 IMA 総会とその後の CPM 内における議論において、CPM の再編と活動の見直しがなされた。委員会メンバーの大多数の意見として、近年はパ

ンデミックによる活動の制限があったものの、CPM の存在意義は依然として大きく、活動を継続すべきであると結論づけられた。

**(a) 新たな執行部, CPM 委員の再編**

以下の新体制が委員会内において行われた投票(2022年10月)により承認された。

Chair : Paola Comodi (University of Perugia)

Vice-chair: Jun Tsuchiya (Ehime University)

Secretary: Sujoy Ghosh (Indian Institute of Technology Kharagpur)

**(b) サブセクションの見直し**

CPM においては、各委員の負担を軽減するために委員の専門分野によるサブセクションを設けている。構成は以下の通りである。(青字は女性、取り消し線は今回退任した委員)

- 1) Earth Deep Interior (6: Comodi, Ghosh, Inoue, ~~McCammn~~, Reynard, Bass, Ohtani)
- 2) Spectroscopy, diffraction and new instrumentations in mineral physics (4: Dubrovinsky, Shim, ~~Irifune~~, Amthauer, ~~Scherr~~, Ohfuji, Cardon)
- 3) Glass and melt studies and their applications to geosciences and industry (7: Neuville, Henderson, Moretti, Lee, Behren, Benedetto, Chetty)
- 4) Theoretical and computational mineral physics (3: ~~Caracas~~, Prencipe, Karki, Tsuchiya)

**(ii) 2021年 IMA による CPM の評価に対する対応**

IMA 評議会において過去6年間のCPMの活動に対する評価が行われた。今後の活動については、大きく2つの提言がなされた。ひとつは「認知度の向上」、もうひとつは「活動・サービスの向上」である。以下に、これらの提言に基づく今後の活動計画について説明する。

**(a) 視認性の向上**

- 1) 各種学会等への積極的参加とスポンサーシップの明記

CPMの活動がウェブサイト上で明らかになるように、CPM委員が関与するセッションには可能な限りCPMのスポンサーシップを明記するようにする。

現状、以下の学会等でCPM委員が関与し、スポンサーシップが明記されたセッションが設けられている。

**• AfLS4-2022/AfPS2022 (Virtual) (Nov. 14-18, 2023):**

CPM委員による発表を行い、鉱物学におけるアフリカ放射光施設の重要性を強調した。

セッション名 : AfLS Contribution: IMA

Convener: Michele Zema

発表者: Eiji Ohtani, Tiziana Boffa-Ballaran, Paola Comodi

CPM 委員より SPring-8 肥後氏へ Plenary talk を依頼した。

Yuji Higo (Japan Synchrotron Radiation Research Institute)

“ Current status and future plans of BL04B1/SPring-8”.

• **JpGU2023 (May 21-26, 2023)**

セッション名: S-IT16: Deep Earth Sciences コンビナー: Jun Tsuchiya

セッション名: S-IT17: Transport Processes and Properties in the Earth  
コンビナー: Eiji Ohtani

セッション名: S-IT18: Planetary cores: Structure, formation, and  
evolution コンビナー: Eiji Ohtani

• **EMPG-XVIII (June 12-15, 2023)**

セッション名: Mineral Physics

コンビナー: Paola Comodi

• **European Mineralogical Conference (EMC) 2024, Dublin (Aug. 18-23, 2024)**

以下のセッションの提案を行った。

セッション名: Recent challenges and advances in theoretical and  
experimental mineral physics

コンビナー: Paola Comodi and Jun Tsuchiya

2) 年次または隔年で定期的に IMA 理事会に報告書を提出し, IMA 公式サイトの CPM ページに掲載する。

• IMA 公式サイトの CPM ページにて 2015-2020 年の活動報告書をアップロードした。

• 今後, IMA 公式サイトの更新にともない, CPM 専用ページを拡充する。可能であれば専用のウェブサイトを開設する (国際鉱物年活動や鉱物物理に関連する研究手法や理論を紹介する活動, オンライン教材などを掲載する予定)。

• CPM Member と CPM Executive member のグループメールを設置した:  
CPM@mineralogy-ima.org, CPM-office@mineralogy-ima.org

3) Physics and Chemistry of Minerals (PCM) 誌への Activity report の掲載  
本 CPM の活動報告については PCM 誌に掲載予定である。

**(b) 活動・サービスの向上**

1) 委員会メンバーのダイバーシティの確保

1 (1) に記述したように CPM 委員の再編がなされた。しかし、女性の割合は委員の再編により 18% (5名) から 15% (= 3名) に低下 (ただし委員長と副委員長が女性) した。一方で、インド (Ghosh) アフリカ (Chetty) 地域からの委員を追加したため、地域の多様性は増加した。今後は、**女性の委員の勧誘、中国、アフリカや南米からの参画が望まれる。**

2) サブセクションの見直し

1 (2) に記述した通り、サブセクションを設けた。**サブセクションごとに chair を決め、一層分業を推進する。**

### (iii) 今後の展望

委員のジェンダーや地域のダイバーシティの向上、CPM の公式ジャーナルである P C M誌への特集号の計画と定期的な活動報告の掲載が特に課題となっている。

現在、鉱物研究は、静的な鉱物物性の解明から動的挙動の理解へと徐々に研究対象のシフトが起きつつあり、むしろ CPM の果たす役割はより一層重要となっている。以上のような CPM の目的の再設定および委員間での共有を行い、構造改革と分業を進めていく。

## (5) IMA カウンシル報告 (大藤)

### (i) カウンシル執行部体制

President	Hans-Peter Schertl (Germany)
1 <sup>st</sup> Vice-President	Eiji Ohtani (Japan)
2 <sup>nd</sup> Vice-President	Xiancai Lu (China)
Past President	Anhuai Lu (China)
Secretary	Sylvie Demouchy (France)
Treasurer	Travis Olds (USA)
Commun. Officer	Michele ZEMA (Italy)
Councilors:	Catherine McCammon (Germany)
	Ross Angle (Italy)
	Hiroaki Ohfuji (Japan)
	Deshenthree Chetty (South Africa)
	Shauna M. Morrison (USA)

### (ii) 次期 IMA ミーティング (IMA2026, Nanjing, China)

LOC によって準備が進められており、近く公式 HP が立ち上がる予定。

### **(iii) IMA Mediation Committee の設立**

近年，新鉱物の命名，分類に関する問題など，各コミッションを超えて検討，議論が必要となるケースがいくつか生じており，それらの問題に対してい公正・公平な対応を検討するための委員会として IMA Mediation Committee が設立された．委員会は，現 President，Vice-President，元・前 President および IMA メダル受賞者や各分野を代表する著名な研究者で構成される．意思決定委員会ではなく，あくまで中立の問題解決のための組織として位置づけられる．

### **(iv) IMA の新ホームページの作成・準備**

Secretary の Demouchy 氏，Web Master の大藤，および時期 IMA 会議の LOC より Shaochun Dong 氏が中心となって，WordPress ベースの新しいホームページを現在製作中．大方，出来上がり細部の調整，修正を行っている段階．今夏現行 HP から移行・公開予定．